

～情報求む！～

今回は、町民のみなさんからの情報をいただきましたしたいと思います。

何の情報かといいますが、写真にあるオキナワトカゲの居場所などです。現在、町史では「西原の自然」発刊に向けて、動植物調査を実施しており、聞き取りでは、オキナワトカゲは人家近くでも見かけるといふことです。

オキナワトカゲは、沖縄諸島の海岸林や農耕地周辺の低地などに生息し、6月ごろ土の中に卵を産み、メスは

卵がふ化するまで、穴の中に残って保護するのだそうです。

そこで町史でも、実際にオキナワトカゲの姿を確認し、写真におさめたいと思っています。

このトカゲの特徴は、幼体のうちは背中に白線があり、尾はきれいな青色をしています。成長すると、白線も消え、体は茶一色となります。そのうろこには光沢があり、方言では「アンダクエーポージャー」などといっているようです。方言は世代によっても違いがあるのかもしれません。みなさんの知っているほかの呼び方や、どのように関わったか（捕まえてどのように遊んだのか）も、あわせて教えてください。ただければ幸いです。また、他の動物や植物に関するお話でも構いません、ぜひ町史編集室へご一報をお寄せください！

●西原町史編集室
担当／山里

WANTED!



オキナワトカゲ

写真提供／小原 祐二